

三里塚・ジエット闘争貫徹! 「国鉄35万人体制」粉碎!

「3.13ゲリラ」での 悪質デマ報道

サンケイ新聞は、全面謝罪し、条件訂正せよ!

われわれは、「動労千葉が『3.13ゲリラ』に組織的に
関与していた」などと断定した3月27日付『サンケイ新
聞』の反動デマ記事を、怒りをもって弾劾し、その無条
件撤回と全面謝罪をかちとりました。けれども、こと
ん追及しぬく廻りを今も続行している。

周知の通り、『サンケイ』は、国家権力（公安警察）の脅
きんちゃんごとなり、公安警察の予断と偏見による見込捜
査=3.27不当家宅捜索にあらかじめ計画的に全面的に
対応し、周辺住民の立場から
してこそ、サンケイ新聞社を断じて許すこと
はできない。これは、もはや『サンケイ』が
自称、社会の公器などとはおこがましい
ところなのであるが、ことの本質は
どのような「表現上の」「良・悪」の問題
などでは、決してないことは明らかで
ある。現に、抗議団に対して、『サンケ
イ』の責任者が、はしなくも「公安当局
の意向をある程度推測して記事にして
いた」（46. 言明）と、本書を口にするべら
してこの事をみても明らかである。

さうして、大範囲な抗議の前に、千葉県
警は、不當に強奪していった「押収物
件」のほとんどである一五三点の物
件を、当然にもうが動労千葉に返還
せざるを得なくなり、その後の「捜査」
を行うものも、全くつかへることができな
くなってしまった。当然のことである。
この事は、この弾圧が、全くの政治的
な予断と偏見にもどづいた、不当き
わまりない見込み捜査であったことを
ものがたってこと。

『サンケイ新聞』は、この事実をどう
判断するのか。自らの「3.13ゲリラ
事件」に動労千葉が関与していた
ことがはっきりしたわけで、なる
「断定」デマ報道の責任をどう言いつ
けようとか。『断定』の根拠は何
か。われわれは、こさかのあります
かも断じて許さない。単に、かが動労
千葉の名誉利害のみならず、常田頃の
『サンケイ』の悪質さがんをも、あ

『権力顔負けの 「サンケイ」の「断定」デマ報道

効率を考えれば、即ち効
働者人民の立場から

しても、サンケイ新聞社を断じて許すこと
はできない。これは、もはや『サンケイ』が
自称、社会の公器などとはおこがましい
「権力御用新聞」そのものになりさがって
いることの表明である。

『サンケイ』が、『タラメな記事の非を
全面的に認め、自己批判をし、サンケイ新
聞紙上で、無条件で全面的な謝罪と訂正
文を掲載し、全社会的に自らの責任を明
らかにするまで、われわれはあらゆる手
段で闘つ。

やがて動労千葉は、3月16日、その
廻りの一環として、「サンケイ新聞紙上へ
全国版）における、無条件で全面的な謝
罪広告の掲載と名誉毀損の回復」を
求めて、東京地裁に請求訴訟を行った。
われわれは、動労千葉の運動と組織を
破壊するため、公安警察のお先棒を
かつきまわるような悪質新聞は、断じて
許さない事を、くり返し明らかにするも
のである。

一体化・=動労「本部」革
マニの「デマ宣伝を弾劾する」
と同時に、われわれは、3月付（第4号）の「
本山労働組合員による組合運営、不当解雇、
ロングアワード攻撃に屈せず、一人の首

動労千葉

82.6.18
No.1073

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
(鉄電)二九三五~六・(公衆)四三三二七二〇七

参考するものとして、『タラメな反動記事・論評を掲載
し、フレームアップ宣伝を行った。しかも、「3.27」のとの当
日の夕刊に（全国版）掲載するという異例の用意周到さで、
他の新聞社からもひんしゃくと注目を浴びたものであ
る。その後に、動労千葉を先頭に、動労ジエット闘争支
援女闘会議、三里塚芝山連合空港反対同盟、動労千葉
顧問弁護団、支援労組代表による西三・西四の抗議・糾
弾と撤回要求に対しても『サンケイ』は逃げまわってきた。

千葉地本情報を徹底的に弾劾する。

本部革マル反動分子が発行している、この『
情報』は、「3.13鉄道ゲリラの容疑で『千葉
動労』事務所搜查うけの」なる大見出し
をつけ、権力サンケイと全く同一の立場で
デマ記事を書き並べ、「一刻も早く弾圧が
はじまし」との願望をあふれさせたもの
である。との反動的な内容はもとより、不当
検査の行われた3月27日の当日の日付でしま
れじよく発行するなど、なにから何まで、権
力・『サンケイ』の体質や口は、そっくり同じで
ある。われわれは、動労「本部」革マル反動
分子が今、オニ臨調攻撃に、全面的に屈服し、
国鉄当局に協力し、即ち労働者を虐殺・襲
撃、あまつさえデマチあげ・タレシ・告訴路
線を全面開花させ、権力の弾圧や当局の処
分を讃美します、「警察労働運動へ
の道をめり固めることを徹底的に断罪
し、全国の労働者・人民とともに、打倒・掃
除してやかなければならぬ」。

全ての組合員の皆さんへ、即ち国鉄労
働運動の拠点を防衛し、反撃の体制を拡
強化していくために、徹底的に攻撃してい
う。

記事の中で、6.15集会での決戦
表明は、反対同盟・小川・嘉吉氏では
なく、小川・喜平氏の誤りでした。
おかげして訂正いたします。

日刊6月10日(3年号)(新付)
訂正とお詫び

記事の中で、6.15集会での決戦
表明は、反対同盟・小川・嘉吉氏では
なく、小川・喜平氏の誤りでした。
おかげして訂正いたします。

30%アップをかちとこう!
金額本山労組は、一九七一年三月以來
同一の仲間を支援し、夏季販売30%アップを期す。

全組合員・家族の強固な團結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!

本山労組は、一九七一年三月以來
同一の仲間を支援し、夏季販売30%アップを期す。